

校長便り 自律



県立南風原高校
& 高等支援学校

平成30年 6月27日 (水)
校長 辻上 弘子
第 6 号

黄色いジャケット集団が醸し出す 独特な雰囲気も 味わいました

21日(木)なかなか珍しい機会となりました。ソウル公演芸術高等学校(略称SOPA)の生徒たちがてんぶす館でのステージ出演のため来沖し、その際に是非高校生同士の交流がしたいと県内で唯一の芸能コースのある本校に白羽の矢がたったようです。一緒にいらした校長先生からはKARA、BTS(防弾少年団)、チェ・ジウ等を輩出した、韓国では非常に人気のある学校だと伺いました。あくまでも授業内交流と企画しておりましたので、特に周知したわけではありませんが、そこは情報収集がオテモノの生徒たち、休み時間には郷土芸能室前の廊下に殺到しておりました。未来の韓国スターたちのパフォーマンスもさすがでしたが、やはり本校 郷土文化コースの生徒たちの伝統芸能は、何回みても見事でありました。夕方のニュースに映っていた生徒らは少々恥ずかしくも嬉しそうで「また勉強しながら深めて頑張りますから」と喜ばす言葉も言ってくれました。校内だけでなく様々な機会や場所で活動できる彼らは、己の成長を感じると共に感謝も覚えておりました。

高等支援学校 1学期就業体験 不安でもあり 楽しくもあり

11日(月)から22日(金)の10日間にわたり南風原高等支援学校就業体験が実施されました。1年生は校内実習で、2・3年生は各事業所での体験となりました。実習中の通勤は自宅から自力で公共交通機関を利用しました。地域の企業様へは深く感謝申し上げます。お世話になりありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。保護者の皆さまには、激励をありがとうございました。初めての試みの来月予定の報告会には、希望なされる保護者の方へも、是非どうぞとご案内しております。お陰様で事業所、学校、家庭、地域が密に連携し生徒の支援体制を構築していく大変よい機会となりました。

